

「祇園祭のごみ」 細組成調査の結果

◆調査の概要

ごみの性状を把握するために、7月14日の役行者山～黒主山間の「その他」ごみとして捨てられたもの（「缶」及び「ペットボトル」として捨てられたものを除く；周辺で拾って歩いたものを少し含む）を対象に、細組成調査を行いました。量は、65.2kg（ごみ袋含む）でしたが、調査中の液体流出分等が5.6kgとなり、細組成後の重量は59.6kgとなりました。なお、ここには、屋台の調理や販売過程等で、屋台関係者から出たごみは入っていませんでした。



◆ごみの内訳（重量）の特徴

細組成調査の結果（湿重量ベース；総量 59.6kg）を、次の図に示します。これより、次のことがわかります。

- 容器包装が多くを占める。特に、プラスチック製容器包装が多い。
- 缶とペットボトルは、別の分別ボックスで回収を行っているが、分別されずに「その他」に混じっているものもある。
- 使い捨て商品も相当割合である。
- また、うちわなども捨てられている。

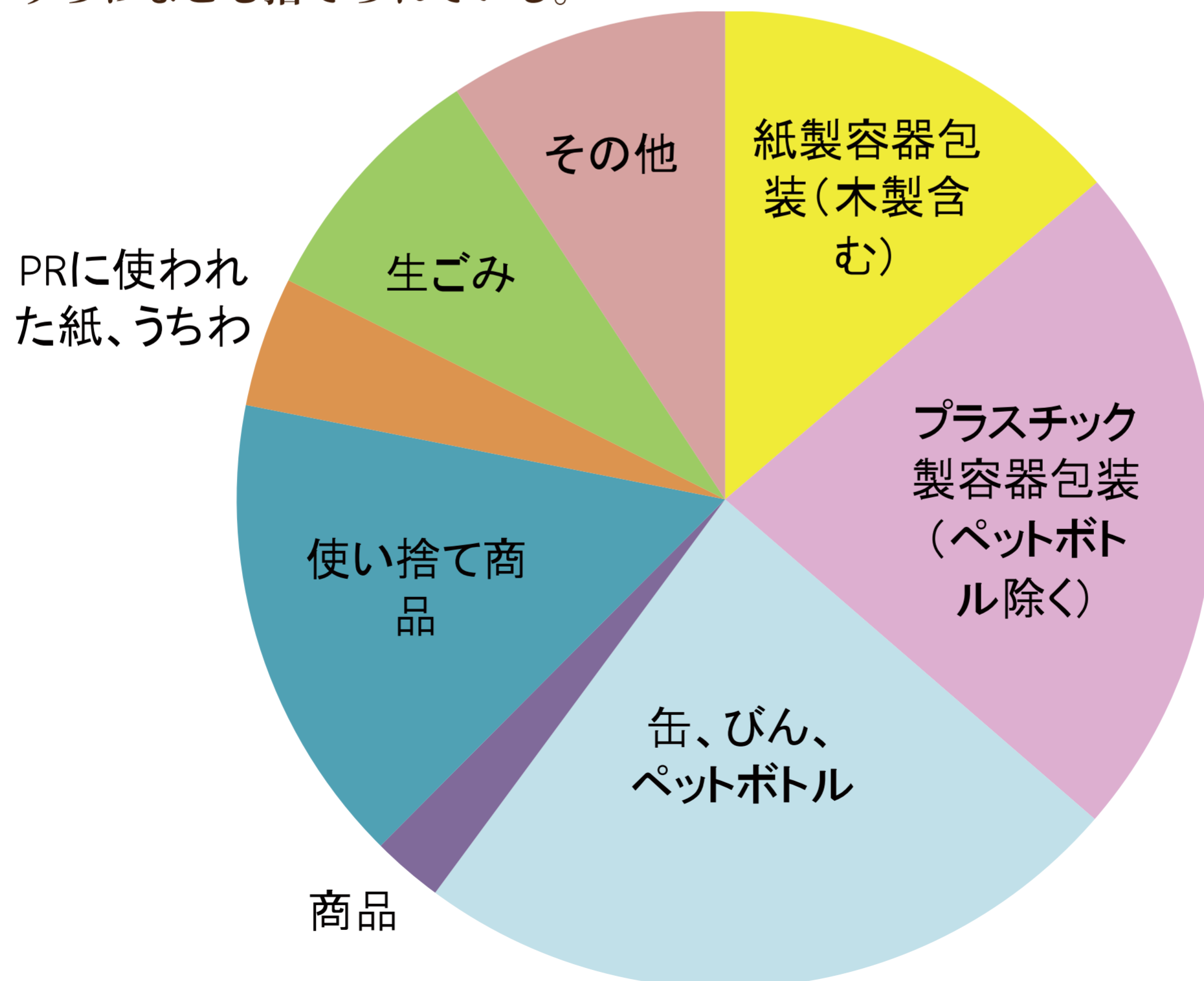


図 祇園祭の「その他」ごみの細組成調査結果の概要（湿重量ベース）